

(3) 個人研究 [10分]

付箋紙への記入要領

- ⑤ 具体的に指導援助策を考え、記入要領の手順で、付箋紙に書き込む。

いつ	どこで	だれが
何をするか		
配慮点は？		

<留意点>

- ・担任(事例提供者)の立場で考える。
  - ・原因探しより、今具体的に出来ることを考える。
  - ・どうにもならないことは、対応の条件と考える。
  - ・何が正しいかではなく、だれがどうかかわれるかを考える。
  - ・教師個人のかかわりと、組織としてのかかわりを考える。
- ⑥ 指導の対象別に、付箋紙に記入した指導援助策を、優先順位順に個人研究用記録用紙に貼り付ける。

(4) グループ研究 [30分]

- ⑦ 小グループでの話し合いの取りまとめを兼ねた全体発表役1名を決めて開始する。
- ⑧ 一人一人、小グループ研究用記録用紙に、付箋紙を貼り付けながら指導援助策を発表する。(同じ策は同じ位置に置き補足のみ)
- ⑨ 各発表の中で、特に有効と考えられる指導援助策に、マーカーペンで目印等をしなから、グループとして最善と考えられる策を検討する。

(5) 全体研究・まとめ [35分]

- ⑩ 各グループの指導援助策を発表し、質疑応答・協議を行い、全体で研究を深める。
- ⑪ 担任(事例提供者)に本日の感想を述べてもらい、振り返りを行う。



ややもすると事例研究会は、改まった感じでとらえられますが、短時間事例研究法を何度か試みて、各学校の具体的な対応に生かしたいものです。